

老部地区放射線防護対策施設 完成

この度、老部地区で建設を進めていた「老部地区放射線防護対策施設」が完成しました。

放射線防護対策施設とは、原子力災害時において、早期の避難が困難である住民（要配慮者）等が、避難先（青森市）へ避難する準備が整うまでの間、安全に一時的に屋内に退避していただくための施設です。

このため、空気中に含まれる放射性物質が建物の中に入らないように、高い気密性を確保するとともに、放射性物質を取り除くフィルターを設置しています。また、非常用電源設備等を備え、施設内には、ベッドや非常食等の資機材を配備しています。

4月14日に行われた完成披露式では、施設の安全を願い、老部敬神会による『屋固め』が執り行われるとともに、関係者により施設を内覧しました。また、併せて、老部地区の方々を対象とした施設内覧会を開催し、たくさんの方々に放射線防護対策施設について理解を深めていただきました。

村内には当施設のほかに、放射線防護対策施設として、要配慮者を対象とした東通中学校（屋内運動場）、また、施設に入所している方々を対象とした診療所、介護老人保健施設などがあります。

村は、村民の安全の確保のため、今後も原子力防災対策の充実・強化に努めてまいります。



施設の完成を報告する畑中村長

◆施設の概要

- ・ 構 造 : RC造（一部SRC造）、地上3階
- ・ 面 積 : 敷地面積 約1,425㎡（約431坪）
延床面積 約 865㎡（約261坪）
- ・ 主な室等 : 1階避難室（区画10床）、2階避難室（収容人数42名）、配膳室、生活用品庫、資材庫、エアロック室
- ・ そ の 他 : 津波災害：浸水区域外（海拔12.5m）
土砂災害：警戒区域内
（土砂を堰き止める擁壁あり）



屋固め：老部敬神会



1階 避難室(10床)



2階 避難室(収容人数:42名)



フィルタユニット